



平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

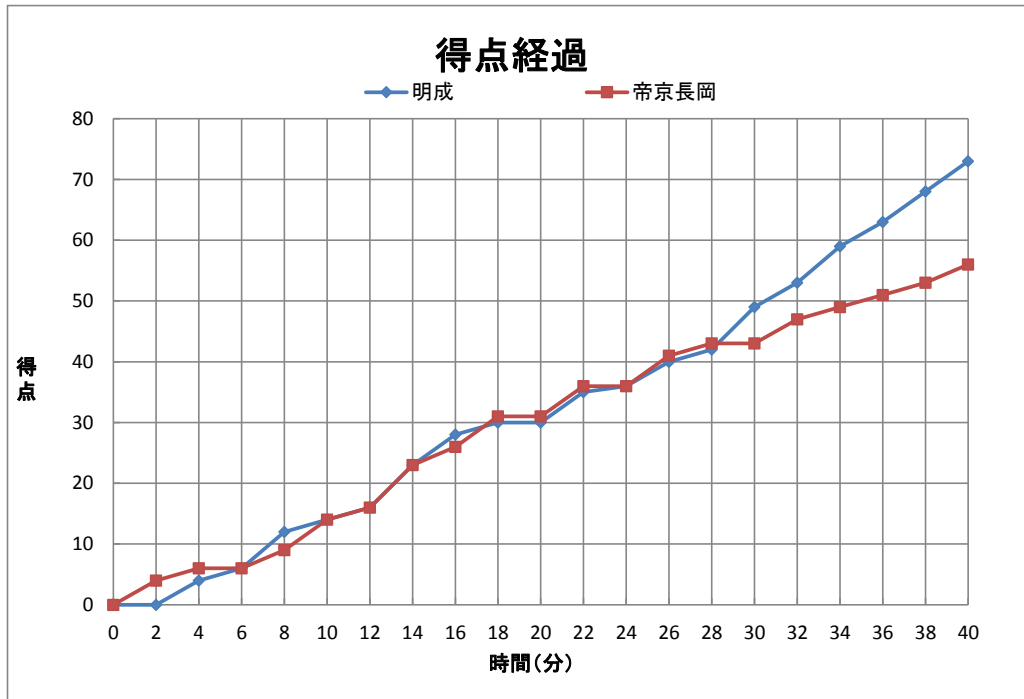
試合日	2015年8月2日
開始時間	14:00
会場	ハンナリーズアリーナ
コート	M
試合順	3

Team A	14 - 14	Team B
	16 - 17	
明成	73	56
	19 - 12	帝京長岡
	24 - 13	
(宮城県)	-	(新潟県)

Team A 明成																		
No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4		庄司 勇人	2	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	5:57
5		井上 駿	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1:26
6	*	納見 悠仁	15	2	4	4	11	1	2	1	0	0	0	2	2	2	0	39:04
7	*	富樫 洋介	9	1	2	3	5	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	34:03
8	*	八村 塁	29	0	1	13	19	3	4	2	2	8	10	3	2	4	0	40:00
9	*	足立 翔	6	0	0	3	4	0	0	3	1	6	7	1	0	2	1	39:59
10	*	三上 侑希	12	2	17	3	12	0	0	3	0	2	2	0	4	1	0	39:30
11		伊藤 修人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12		江戸保 礼央	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13		相原アレクサンダー学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		八村 阿蓮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:01
15		本間 紗斗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
Team / Coach:		佐藤 久夫	/	/	/	/	/	/	/	0	6	11	17	0	/	/	/	/
合計			73	5	24	26	52	6	8	12	9	27	36	6	9	11	1	200
RATE				20.8%		50.0%		75.0%										

Team B 帝京長岡																		
No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	*	頓所 幹康	3	1	2	0	4	0	2	1	3	2	5	5	4	2	0	40:00
5		笠井 航	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6		大嶋 拓実	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7	*	DIABATE TAHIROU	16	0	0	7	13	2	2	2	1	10	11	4	1	2	5	40:00
8	*	高橋 陸	14	4	11	1	6	0	0	0	0	4	4	4	6	1	0	40:00
9	*	神田 大輔	12	2	6	3	9	0	0	3	0	2	2	3	5	3	0	40:00
10		矢代 賢人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	*	遠藤 健斗	11	1	4	4	7	0	0	0	3	3	6	0	1	0	0	35:04
12		池田 大雅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13		祝 俊成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		刘 子澍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		川崎 竣平	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4:56
Team / Coach:		柴田 勲	/	/	/	/	/	/	/	0	3	3	6	0	/	/	/	/
合計			56	8	23	15	40	2	4	6	10	24	34	16	17	8	5	200
RATE				34.8%		37.5%		50.0%										

主審	伊藤 恒	副審	前田 喜庸	渡邊 整
----	------	----	-------	------



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	12:24	: 25:29	: :	: :	: :	: :
TeamB	15:19	: 24:13	33:50	37:07	: :	: :

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

第1P、明成はオールコートの2-2-1から2-3のゾーンディフェンス、帝京長岡はマンツーマンで試合が始まる。先制点は帝京長岡#7の1対1。その後、#7がフリースロー、ジャンプシュートと連続して得点する。対する明成は、#6のレイアップ、#8のローポストの1対1、#9のランニングプレイで得点していく。アウトサイドが思うように入らない明成に対し、帝京長岡はゾーンの間を突き#8と#9が3Pを決め、第1Pは14対14と同点。

第2P、重い雰囲気の中、明成がタイムアウトを取ると、ゲームが動き、明成は#6の2連続3P、#7のジャンプシュートを含む3分で12得点。一方の帝京長岡も#8、#4、#11が3Pを決めるなど主導権を渡さず。30対31と帝京長岡リード。

後半、明成は#8の1対1、#6の速攻と2点ずつ積み重ねるのに対し、帝京長岡は#8が2本の3Pを決めるなど苦しいところを3Pでしのぐ。しかし、残り4分から#9のジャンプシュートの2得点のみと苦しい展開になり、その間に明成は#8がロングシュート、ローポストの1対1、リバウンドシュートで得点を重ね、終了間際に#10が3Pを決め、49対43と明成が6点リード。

第4P、帝京長岡#7が力強いインサイドプレイで2連続得点し、#9が鋭いドライブを見せる。明成は#6、#10が3Pではなく、ジャンプシュートで得点していく。残り6分、帝京長岡は明成のオールコートの2-2-1に戸惑い始め、思い切ったプレイができずオフェンスが思うように入らない。明成はディフェンスから速い展開や、#10、#7の3P、#9のゴール下で着実に得点をとる。帝京長岡は最後まであきらめず、#9が3Pを決めるが、73対56で明成が決勝戦へ進出した。

戦評	木村 励
----	------

記録	南陽高校
----	------